

第6回 ベーコン

- 1 B 17～18世紀、近代科学の諸分野に大きな影響をあたえることになった、科学的方法の確立と知識体系の基礎づけを総称して何というか。科学革命
- 2 A プトレマイオスによって体系づけられた、地球の回りを天体が回転しているという中世の宇宙観を何というか。天動説
- 3 A プトレマイオスによって体系づけられた、地球の回りを天体が回転しているという考えを批判し、地球が太陽の回りを周期的に回転しているという考えを何というか。地動説
- 4 A 『天体の回転について』によって、地動説を提唱したポーランドの天文学者は誰か。コペルニクス
- 5 B 惑星は太陽の回りを一定の法則で回転している、という考えをとなえたドイツの天文学者は誰か。ケプラー
- 6 C コペルニクスの説を支持し、神と宇宙とは無限であることで一つのものであると主張して火刑に処せられたイタリアの哲学者は誰か。ブルーノ
- 7 A 実験・観察によって落体の法則・慣性の法則などを発見するとともに、望遠鏡によって地動説を実証したイタリアの天文学者は誰か。ガリレオ＝ガリレイ
- 8 A 地動説を支持したため、宗教裁判にかけられることになったガリレオ＝ガリレイの著作を何というか。『天文対話』
- 9 A 先行の天文学・力学を集大成して古典力学を確立するとともに、微積分を創始し光学の領域にも業績を残したイギリスの物理学者・数学者は誰か。ニュートン
- 10 B ニュートンの力学の集大成となる著書を何というか。『プリンキピア(自然哲学の数学的原理)』
- 11 A 宇宙の物質は相互に引きあう力を持ち、その大きさは質量の2乗に比例し、相互の距離の2乗に反比例するというニュートンの理論を何というか。万有引力の法則
- 1 A すべての知識の起源を感覚的経験におく思想的立場を何というか。経験論
- 2 A スコラ哲学を批判して実験と観察にもとづく経験的かつ科学的知識を重んじ、そのための方法の確立に尽力したイギリス経験論の祖は誰か。ベーコン
- 3 A 先入観の排除や帰納法など学問の方法を論じたベーコンの著書を何というか。『ノヴム＝オルガヌム』
- 4 B 科学技術がもたらす理想社会を描いたベーコンの著書を何というか。『ニュー＝アトランティス』
- 5 A ベーコンが人間の認識をさまたげる先入見・偏見という意味で用いた、偶像という原意をもつラテン語を何というか。イドラ
- 6 A 自然現象の擬人化のような、人間に固有の先入見をベーコンは何と表現したか。種族のイドラ
- 7 A 個人のおいたちや性癖に由来する先入見をベーコンは何と表現したか。洞窟のイドラ
- 8 A 言語の不適切な使用にもとづく先入見をベーコンは何と表現したか。市場のイドラ
- 9 A 権威ある学説を無批判に受け入れる先入見をベーコンは何と表現したか。劇場のイドラ
- 10 A 実験・観察にもとづく知識は自然を支配する力となるということを表明したベーコンのことは何というか。「知は力なり」
- 11 B 自然を征服するためには、自然に素直にしたがうことによって原理や法則を発見する必要があるというベーコンのことは何というか。「自然は服従することによってでなければ、征服されない」
- 12 A 組織でとられた実験・観察によって事実を集積し、そこから法則・原理を導きだす学問の方法を何というか。帰納法
- 13 A 社会契約説によって名誉革命を擁護するとともに、認識の経験的発生を論じてイギリス経験論の先駆けともなった哲学者は誰か。ロック

- | | | |
|------|--|---------|
| 14 B | 何の観念も記されていない生まれついでに精神の状態をロックは何と表現したか。 | タブラ＝ラサ |
| 15 A | 生得観念を否定し、すべての認識は経験によって生まれることを説いたロックの著書を何というか。 | 『人間悟性論』 |
| 16 C | 物質は客観的に存在するのではなく、知覚されてはじめて存在するという考えを展開したアイルランドの哲学者は誰か。 | バークリー |
| 17 B | 精神は「知覚の束」と考え、物質的存在だけではなく精神的存在さえも否定したイギリスの経験論哲学者は誰か。 | ヒューム |